

高校入試過去問(名古屋高校) (H27)年数学

100点満点(50)分

1.

(1) $(-6x^2y^3)^2 \div \left(-\frac{1}{2}x^7y^4\right) \times \frac{1}{8}x^3$ を計算せよ。

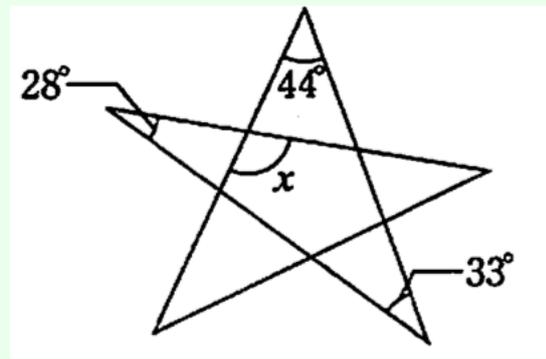
(2) $x = \frac{\sqrt{3} + \sqrt{5}}{10}$, $y = \frac{\sqrt{5} - \sqrt{3}}{10}$ のとき, $x^2 + 2xy + y^2$ の値を求めよ。

(3) 連立方程式
$$\begin{cases} \frac{x+y}{xy} = 5 \\ \frac{4}{x} - \frac{3}{y} = 6 \end{cases}$$
 を解け。

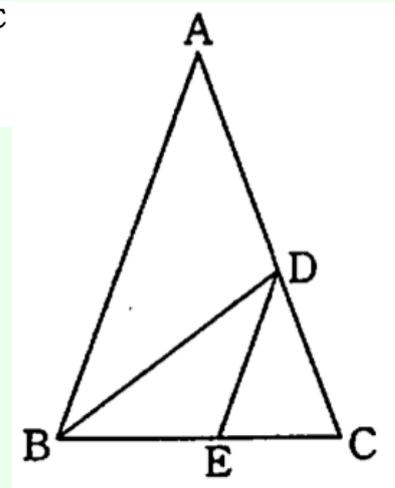
(4) $\frac{35}{24}$, $\frac{25}{18}$ のどちらにかけても自然数となるような分数のうち、最小のものを求めよ。

(5) 1から6までの目が出る大、小の2つのさいころを同時に投げる。大きいさいころの出た目の数を a 、小さいさいころの出た目の数を b とするとき、 $a+b$ が素数である確率を求めよ。ただし、どちらのさいころも1から6までの目が出る確率はすべて等しいものとする。

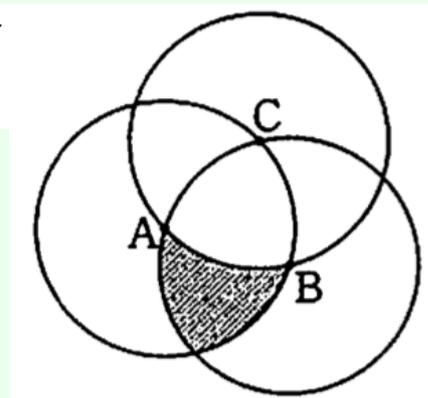
(6) 右の図において、 $\angle x$ の大きさを求めよ。



(7) 右の図は、 $AB=AC$ である二等辺三角形 ABC である。点 D は辺 AC 上にあり、点 E は辺 BC 上にある。 $AB=6\text{cm}$, $BC=4\text{cm}$, $BC=BD$, $DC=DE$ であるとき、線分 CE の長さを求めよ。



(8) 右の図は、半径5cmの3つの円が交わり、交点A, B, Cがそれぞれの円の中心になっている図である。このとき、影をつけた部分の面積を求めよ。



2.

1 辺の長さが 2cm である正八面体がある。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 正八面体の辺の数を答えよ。
- (2) 正八面体の表面積を求めよ。
- (3) 正八面体の体積を求めよ。

3.

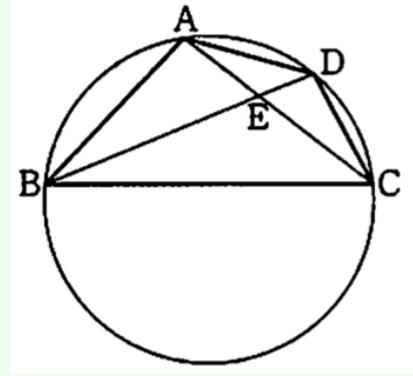
容器の中に、濃度 12% の食塩水が 30g 入っている。容器から x g の食塩水を取り出し、そのかわりに容器に x g の水を入れてよくかき混ぜた。さらに容器から $3x$ g の食塩水を取り出し、そのかわりに容器に $3x$ g の水を入れてよくかき混ぜたところ、容器には 5% の食塩水ができた。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 最初に食塩水を取り出したとき、容器に残っている食塩水に溶けている食塩の重さを x を使った文字式で表せ。
- (2) x の値を求めよ。

4.

右の図は、円に内接する四角形 ABCD であり、 $AB=3\text{cm}$ 、 $AD=CD=2\text{cm}$ 、 $BC=5\text{cm}$ である。また、点 E は線分 AC と線分 BD の交点である。このとき、次の問いに答えよ。

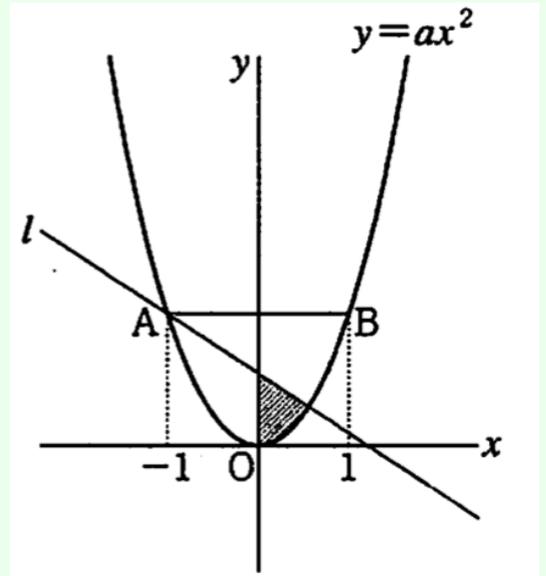
- (1) 図において、 $\triangle ABE$ と相似であり合同ではない三角形をすべて答えよ。
- (2) $BE:ED$ を最も簡単な整数の比で答えよ。
- (3) $\triangle ABE:\triangle DBC$ を最も簡単な整数の比で答えよ。



5.

右の図のように、関数 $y=ax^2$ ($a>0$) のグラフ上に、2点 A, B をとり、その x 座標をそれぞれ $-1, 1$ とする。直線 l は、点 A を通り、関数 $y=ax^2$ のグラフと線分 AB に囲まれた部分の面積を 2 等分する。直線 l の傾きを b ($b<0$) とするとき、次の問いに答えよ。ただし、 a, b を用いた式で表してよい。

- (1) 点 A の座標を求めよ。
- (2) 直線 l の式を求めよ。
- (3) 直線 l と y 軸と関数 $y=ax^2$ のグラフに囲まれた部分のうち、図の斜線部分の面積を求めよ。



高校入試過去問(名古屋高校) (H27)年数学

100点満点(50)分

1.

(1) $(-6x^2y^3)^2 \div (-\frac{1}{2}x^7y^4) \times \frac{1}{8}x^3$ を計算せよ。

$$= 36x^4y^6 \times \left(-\frac{2}{x^7y^4}\right) \times \frac{x^3}{8}$$

$$= \underline{\underline{-9y^2}} \#$$



指数法則)

$$(x^a)^b = x^{a \times b}$$

(2) $x = \frac{\sqrt{3} + \sqrt{5}}{10}$, $y = \frac{\sqrt{5} - \sqrt{3}}{10}$ のとき, $x^2 + 2xy + y^2$ の値を求めよ。

$$x^2 + 2xy + y^2 = (x + y)^2$$

$$= \left(\frac{\sqrt{3} + \sqrt{5}}{10} + \frac{\sqrt{5} - \sqrt{3}}{10}\right)^2$$

$$= \left(\frac{\sqrt{5}}{5}\right)^2 = \frac{5}{25} = \underline{\underline{\frac{1}{5}}} \#$$



式の整理

→ 値の代入

(3) 連立方程式 $\begin{cases} \frac{x+y}{xy} = 5 \\ \frac{4}{x} - \frac{3}{y} = 6 \end{cases}$ を解け。

$$\frac{1}{x} = A, \frac{1}{y} = B \text{ とおくと}$$

$$A + B = \frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{x+y}{xy} = 5$$

$$\frac{4}{x} - \frac{3}{y} = 4 \times \frac{1}{x} - 3 \times \frac{1}{y} = 4A - 3B = 6$$

$$\begin{cases} A + B = 5 \\ 4A - 3B = 6 \end{cases}$$

解くと $(A, B) = (3, 2)$

$$\frac{1}{x} = 3, \frac{1}{y} = 2$$

$$\therefore \underline{\underline{x = \frac{1}{3}, y = \frac{1}{2}}} \#$$



分数の対称式

$\frac{1}{x}, \frac{1}{y}$ を文字に替えて解く!

(4) $\frac{35}{24}$, $\frac{25}{18}$ のどちらにかけても自然数となるような分数のうち、最小のものを求めよ。

① 分母・分子を「素因数分解」する。

$$\frac{35}{24} = \frac{5 \times 7}{2^3 \times 3}, \quad \frac{25}{18} = \frac{5^2}{2 \times 3^2}$$

② 分母の 2^3 と 3^2 両方を約分する必要があるので $2^3 \times 3^2$
分子の 5 が 1 つ約分すれば、 $2^3 \times 3^2$ を $\frac{2^3 \times 3^2}{5}$ に小さく
できる。 $\frac{2^3 \times 3^2}{5} = \frac{72}{5}$ //



自然数問題

「素因数分解」がカギ!

(5) 1 から 6 までの目が出る大、小の 2 つのさいころを同時に投げる。大きいさいころの出た目の数を a 、小さいさいころの出た目の数を b とするとき、 $a+b$ が素数である確率を求めよ。
ただし、どちらのさいころも 1 から 6 までの目が出る確率はすべて等しいものとする。

$2 \leq a+b \leq 12$ の素数は 2, 3, 5, 7, 11

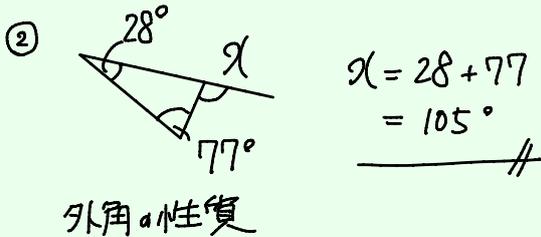
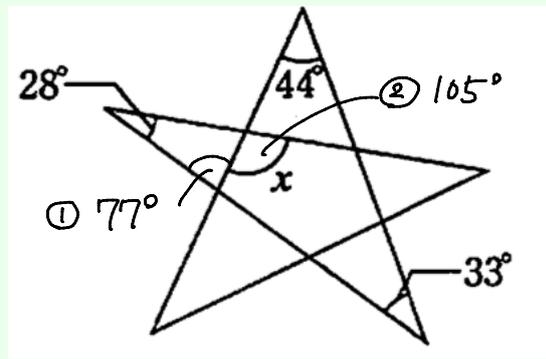
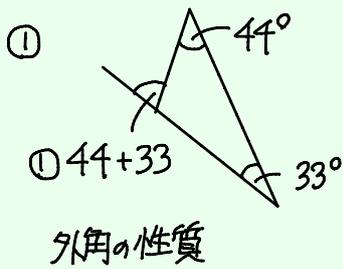
① 素数 = 2 ... (1, 1)
= 3 ... (1, 2) (2, 1)
= 5 ... (1, 4) (4, 1) (2, 3) (3, 2)
= 7 ... (1, 6) (6, 1) (2, 5) (5, 2) (3, 4) (4, 3)
= 11 ... (5, 6) (6, 5) 以上 15通り

2 つのさいころの出目は 36通り なので $\frac{15}{36} = \frac{5}{12}$ //



条件を満たす組み合わせを
順番に整理して挙げよう!

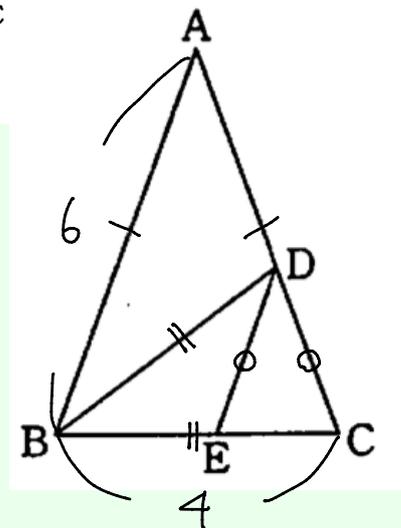
(6) 右の図において、 $\angle x$ の大きさを求めよ。



外角の性質

使う場面多とて99いよ

(7) 右の図は、 $AB=AC$ である二等辺三角形 ABC である。点 D は辺 AC 上にあり、点 E は辺 BC 上にある。 $AB=6\text{cm}$, $BC=4\text{cm}$, $BC=BD$, $DC=DE$ であるとき、線分 CE の長さを求めよ。



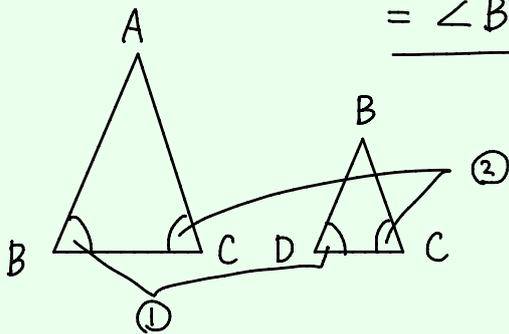
① 相似な三角形を見つける。

$$\triangle ABC \sim \triangle BDC$$

$$\angle ABC = \angle ACB = \angle BCD$$

$$= \angle BDC$$

②
①



この流れは、
よく使う流れ!

$$AB : BC = BC : DC$$

$$6 : 4 = 4 : DC$$

$$DC = \frac{8}{3} \text{ cm}$$

$$\triangle BDC \sim \triangle DEC$$

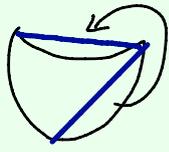
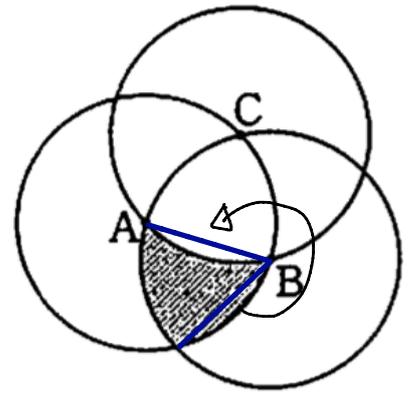
$$BC : DC = DC : EC$$

$$4 : \frac{8}{3} = \frac{8}{3} : EC$$

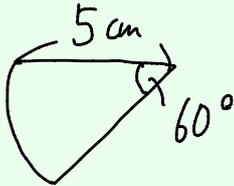
$$EC = \frac{16}{9} \text{ cm}$$

//

(8) 右の図は、半径5cmの3つの円が交わり、交点A, B, Cがそれぞれの円の中心になっている図である。このとき、影をつけた部分の面積を求めよ。



切り取り、上にのけると、
半径5cm, 中心角60°の
おうぎ形になる。



$$\begin{aligned} \therefore \text{おうぎ形の面積} &= \text{半径} \times \text{半径} \times \pi \times \frac{\text{中心角}}{360^\circ} \\ &= 5^2 \pi \times \frac{60}{360} = \frac{25}{6} \pi \text{ (cm}^2\text{)} \end{aligned}$$



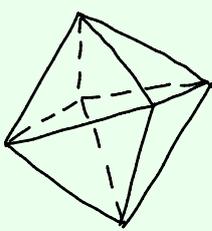
斜線部問題は、
形を**変形**する
工夫がたい！

2.

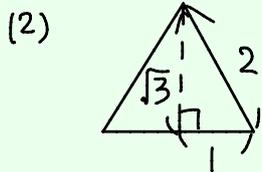
1 辺の長さが 2cm である正八面体がある。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 正八面体の辺の数を答えよ。
- (2) 正八面体の表面積を求めよ。
- (3) 正八面体の体積を求めよ。

(1) 正三角形 8 つでできる立体。



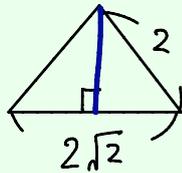
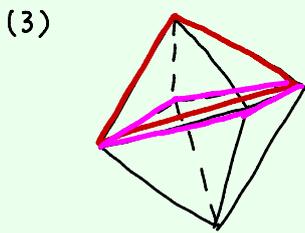
上 4 本
中 4 本 の 12 本
下 4 本



1 つの正三角形の面積

$$= 2 \times \sqrt{3} \times \frac{1}{2} = \sqrt{3} \text{ cm}^2$$

8 面 で $8\sqrt{3} \text{ cm}^2$



高さ = $\sqrt{2^2 - (\sqrt{2})^2}$
= $\sqrt{2}$

$$\left(\text{底面積} \times \text{高さ} \times \frac{1}{3} \right) \times 2 = \left(2 \times 2 \times \sqrt{2} \times \frac{1}{3} \right) \times 2$$
$$= \frac{8\sqrt{2}}{3} \text{ cm}^3$$



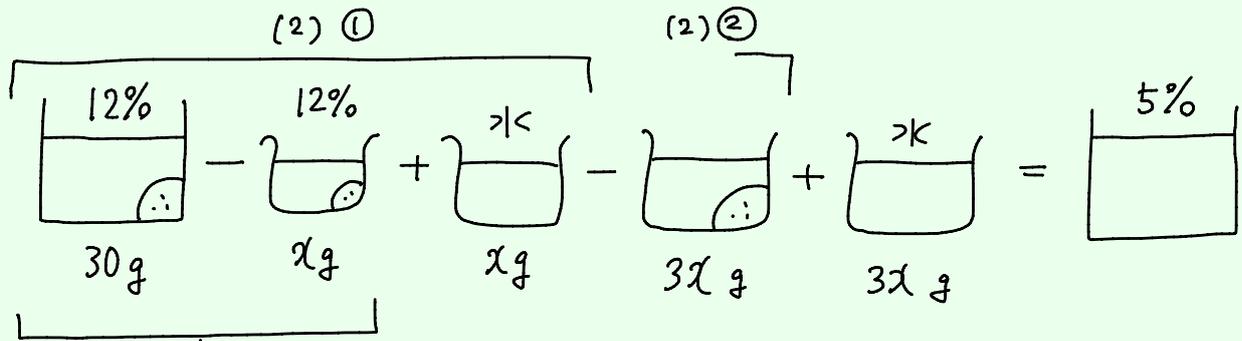
他の 4 つの正多面体の知識

- ① 正三角形 $\begin{cases} 3 \text{ 辺} = \text{正四面体} \\ 8 \text{ 辺} = \text{正八面体} \\ 20 \text{ 辺} = \text{正二十面体} \end{cases}$
- ② 正方形 $6 \text{ 面} = \text{立方体}$
- ③ 正五角形 $12 \text{ 面} = \text{正十二面体}$

3.

容器の中に、濃度 12% の食塩水が 30g 入っている。容器から x g の食塩水を取り出し、そのかわりに容器に x g の水を入れてよくかき混ぜた。さらに容器から $3x$ g の食塩水を取り出し、そのかわりに容器に $3x$ g の水を入れてよくかき混ぜたところ、容器には 5% の食塩水ができた。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 最初に食塩水を取り出したとき、容器に残っている食塩水に溶けている食塩の重さを x を使った文字式で表せ。
 (2) x の値を求めよ。



(1) $(30-x) \times \frac{12}{100} = \frac{90-3x}{25}$ (g) //

(2) 最終的な食塩水は $30 - x + x - 3x + 3x = 30$ g

① 食塩水 = 30g
 食塩 = $\frac{90-3x}{25}$ g より濃度 = $\frac{90-3x}{30}$

② 食塩水 = $30 - 3x$ 以上より 左辺の食塩量は、

$(30-3x) \times \frac{90-3x}{25} = 30 \times \frac{5}{100}$ ← 右辺の食塩量

$(10-x)(30-x) = 125$

$x^2 - 40x - 175 = 0$

$(x-5)(x-35) = 0$

$x < 30$ より $x = 5$ //



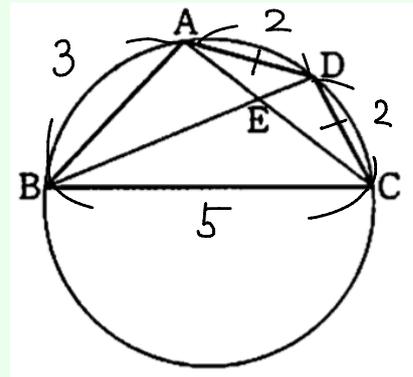
食塩水問題は、食塩の量が両辺で等しい式を立てることがとても多い!



図をかくと情報整理しやすい!

右の図は、円に内接する四角形 ABCD であり、 $AB=3\text{cm}$, $AD=CD=2\text{cm}$, $BC=5\text{cm}$ である。また、点 E は線分 AC と線分 BD の交点である。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 図において、 $\triangle ABE$ と相似であり合同ではない三角形をすべて答えよ。
 (2) $BE:ED$ を最も簡単な整数の比で答えよ。
 (3) $\triangle ABE:\triangle DBC$ を最も簡単な整数の比で答えよ。



(1) ① $\triangle ABE \sim \triangle DCE$

- (\bullet \widehat{AD} の円周角が等しいので、 $\angle ABE = \angle ECD$
 \bullet 対頂角が等しいので、 $\angle AEB = \angle DEC$)

② $\triangle ABE \sim \triangle DBC$

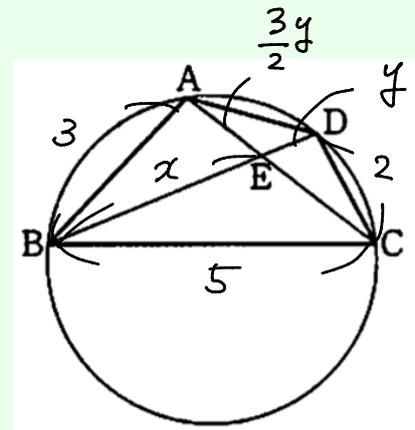
- (\bullet $\angle BAC = \angle BDC = 90^\circ$
 \bullet $\angle ABE = \angle DBC$ ($\widehat{AD} = \widehat{DC}$ の円周角))

(2) $BE = x$, $ED = y$ とおく。

$\triangle ABE \sim \triangle DCE$ より

$$AB:DC = 3:2 = AE:ED \quad (\text{④})$$

$$AE = \frac{3}{2}y$$



\bullet $\triangle ABE \sim \triangle DBC$ より

$$AB:BD = AE:DC$$

$$3:x+y = \frac{3}{2}y:2 \quad \dots \text{①}$$

$$AB:BE = BD:BC$$

$$3:x = x+y:5 \quad \dots \text{②}$$

$$\begin{cases} \frac{3}{2}y(x+y) = 6 \quad \dots \text{①} \\ x(x+y) = 15 \quad \dots \text{②} \end{cases}$$

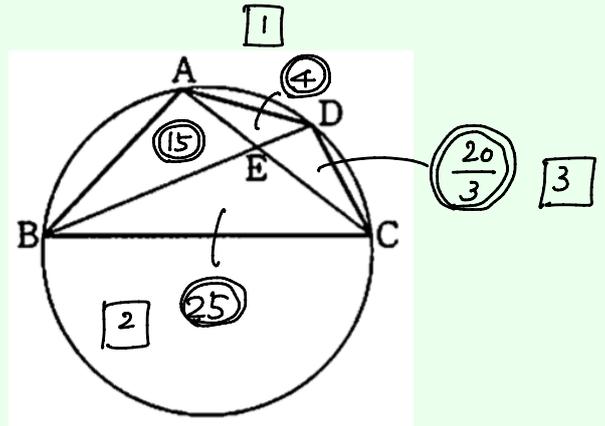
$$\begin{cases} x+y = \frac{4}{y} & \frac{4}{y} = \frac{15}{x} \\ x+y = \frac{15}{x} & 4x = 15y \end{cases}$$

$$\begin{aligned} x &= BE \\ y &= ED \quad \text{より} \end{aligned}$$

$$\underline{BE:ED = 15:4} //$$

4.

(3) $\triangle ABE : \triangle DBC$ を最も簡単な整数の比で答えよ。



1 (2) より $BE : ED = 15 : 4$ より
 $\triangle ABE : \triangle AED = 15 : 4$

2 $\angle ABE = \angle ECB$ より
 $AB : BC = AE : EC = 3 : 5$
 $\triangle ABE : \triangle ECB = AE : EC$
 $15 : \triangle ECB = 3 : 5$
 $\triangle ECB = 25$

3 (2) より $BE : ED = 15 : 4$ より
 $\triangle BEC : \triangle EDC = 15 : 4$
 $25 : \triangle EDC = 15 : 4$
 $\triangle EDC = \frac{20}{3}$

以上より $\triangle ABE = 15$
 $\triangle DBC = 25 + \frac{20}{3} = \frac{95}{3}$

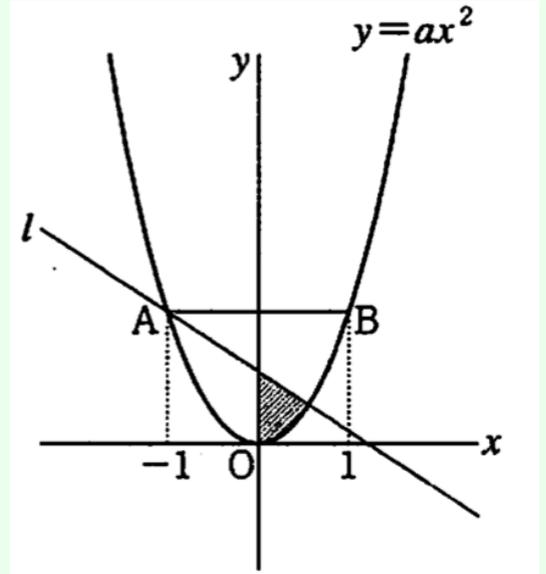
$\triangle ABE : \triangle DBC = 15 : \frac{95}{3} = 45 : 95 = 9 : 19 //$



高さが等しい三角形の「面積比」=「底辺比」

5.

右の図のように、関数 $y=ax^2 (a>0)$ のグラフ上に、2点 A, B をとり、その x 座標をそれぞれ $-1, 1$ とする。直線 l は、点 A を通り、関数 $y=ax^2$ のグラフと線分 AB に囲まれた部分の面積を 2 等分する。直線 l の傾きを $b (b<0)$ とするとき、次の問いに答えよ。ただし、 a, b を用いた式で表してよい。



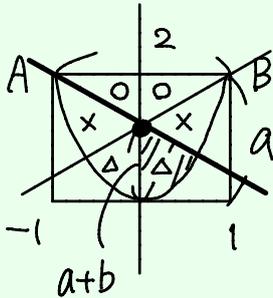
(1) A の x 座標 B -1 対称で

$$y = a \times (-1)^2 = a \quad \underline{A(-1, a)} //$$

(2) $l: y = bx + b'$ とおく。 l は $(-1, a)$ を通るので代入

$$a = -b + b' \rightarrow b' = a + b \quad \therefore y = bx + a + b //$$

(3) $(-1, a)$ A $B(1, a)$



面積 = 等分を
2通りで表す。

$$x + \bigcirc + \Delta = x + \Delta + \Delta$$

どちらも半分

よして

$$\bigcirc = \Delta$$

$$\Delta = \bigcirc$$

$$\Delta = 1 \times (-b) \times \frac{1}{2} = -\frac{b}{2} //$$

